

『第6回沖縄県臨床研修病院合同説明会』開催報告

実行委員長 崎原永立（5年次）

| | | | |
|---------------|------|-------|------|
| 実行委員 (5年次) | 大城志月 | 我喜屋亮太 | 柳田明希 |
| | 富沢夏美 | 中山鈴 | 岡本有可 |

琉球大学医学科同窓会の皆様、はじめまして。30期生の崎原永立と申します。平素より皆様には同窓会の活動を通じて大変お世話になっております。この度、「第6回沖縄県臨床研修病院合同説明会」を医学科同窓会の後援のもと無事に執り行うことが出来ましたので、ご報告をさせていただきますと思います。

新臨床研修制度の発足に伴い、医師免許取得後2年間は臨床研修指定病院における研修が必修化されました。同時に研修病院を自分で選ぶマッチング制度が導入され、それにより医学生は初期研修の病院について強く意識することとなったと伺っております。しかし、在学中に病院見学をさせて頂く機会はそう多くはなく、また県外で多く行われているような病院説明会も沖縄県ではほとんど開催されていないのが現状です。そのため琉球大学の学生は、研修先の病院についての情報を得る機会が少ないのではないかと言われてきました。そこで、県内の臨床研修指定病院が一堂に会し、琉球大学の学生を対象にした合同企業説明会ならぬ合同病院説明会を行うこととなり、今年度で6回目の開催を迎えることができました。回を重ねるごとに病院側と学生側の多様なニーズに沿った、よりよい説明会となっているのではないかと思います。

さて、今年度の合同病院説明会は、県内の15の研修指定病院すべてが参加して下さいました。学生は少なくとも80名以上が参加し、30名以上の病院関係者の方がお見えになりました。開催方法としましては、昨年度と同様にプレゼンテー

ション会場とブース会場を設置し、その2つを並行して進める形をとりました。プレゼンテーション会場では各病院が順次にプレゼンテーションを行い、また各病院の研修の特徴を把握していない学生に対して、全ての病院の説明が受けられるようにしました。またブース会場は、各病院専用のブースを常時設置し、ある程度研修先を絞り込んでいる学生に対して、より詳細な説明を個別に受けることが出来るように設置しました。今年度はプレゼンテーション会場が非常に好評で、「各病院の特色を比較できて良かった」「ブースに行く病院選びの参考になった」などの生徒からの声を頂きました。今回の反省点としましては、プレゼンテーションを行っている時間帯にブース会場にいる学生の数が少ないこと、1～4年生への広報活動が不十分であったことなどが挙げられます。今後はさらなる改善を重ね、この合同説明会が学生と病院双方にとってより良いものになるように努めて参りたいと思います。

最後になりましたが、今回ご協力頂きました病院関係者の皆様、企画の段階よりご支援頂きました医学科同窓会の皆様に対しまして、学生を代表し厚く御礼申し上げます。

